

いわき湯本温泉では、これから、色々なプロジェクトやコンテンツが生まれてきます。
それぞれが一つのコンテンツで終わらないために、まち全体の回遊性を考えて、必要な場所に必要な整備を行い、いわき湯本温泉全体として盛り上げていく必要があります。

第2回まちなみづくり検討会にて、みなさまと確認したいわき湯本温泉をまちとして盛り上げていくための動線や拠点の考え方を以下にまとめました。
今後も随時ブラッシュアップしていきますが、現時点でのご意見をお聞かせください。

至 白水阿弥陀堂

◆みゆき山

新しい温浴と階段空間の組み合わせによる
駅前からの正面軸線の終着点としての
湯本の顔になるスポットづくり

◆駅前緑地

御幸山の足下の湯けむりたよう
コミュニティひろばづくり

◆軌道みち

駅付近から温泉神社を繋ぐ
新たな参道的役割を与えつつ、
軌道の記憶もそっと織り込んだ、
まちなみづくり

散策路

四季を感じる植栽で彩り、
まちの回遊機能の向上

サブ拠点づくり

サブ拠点づくり

サブ拠点づくり

サブ拠点づくり

サブ拠点づくり

サブ拠点づくり

サブ拠点づくり

サブ拠点づくり

サブ拠点づくり

サブ拠点づくり

サブ拠点づくり

サブ拠点づくり

サブ拠点づくり

サブ拠点づくり

サブ拠点づくり

サブ拠点づくり

サブ拠点づくり

サブ拠点づくり

サブ拠点づくり

サブ拠点づくり

サブ拠点づくり

サブ拠点づくり

サブ拠点づくり

サブ拠点づくり

サブ拠点づくり

サブ拠点づくり

サブ拠点づくり

サブ拠点づくり

サブ拠点づくり

サブ拠点づくり

サブ拠点づくり

サブ拠点づくり

サブ拠点づくり

サブ拠点づくり

サブ拠点づくり

サブ拠点づくり

サブ拠点づくり

◆支所跡地・温泉神社周辺

温泉街観光の主要拠点として、温泉情緒漂う湯本を象徴するまちなみづくり

◆表町通り

温泉神社の参道正面である宿場町の記憶を尊重した、
歴史的な雰囲気大切にしたいまちなみづくり

サブ拠点づくり（トイレ機能併設型）※

※サブ拠点の適地選定作業については、
一点破線エリア付近への配置を目標として、
地域と共に候補地検討を引き続き重ねる

◆中央通り（裏町通り）

古き良き昭和レトロな地域の思い出を活かしつつ、
新しい活動拠点が生まれることを期待した
まちなみづくり

サブ拠点づくり

◆桜木町通り

中央通り（裏町通り）に準じつつ、
回遊性を高めるまちなみづくり

路地（三函地区の路地全て）

まちの回遊を促しつつ、実験的な
活動が行われ、新たなにぎわいや
きっかけが生まれる場づくり

◆駅前広場・交流拠点周辺

- ・湯本の玄関口としての機能の集積
- ・広場を中心とした交流拠点＋動線づくり
- ・アクティブな拠点空間づくりと、
みんなで共有するマイプレイスの集合体づくり
- ・フラ（異国情緒）を感じさせつつ、
温泉まち湯本のアイデンティティが
滲み出るまちなみづくり
- ・次世代モビリティ機能の段階的な組み込み

凡例

：3つの新たな温浴施設

：各拠点・結節点
（新規／リニューアル）

：各拠点・結節点
（既設）

：残したい風景

：取り戻したい風景

：旧浜街道

■「まちなみづくり」を 官民協働により 戦略的に高めていく動線（案）

：まちなみ機能を高める動線
※各ラインの太さの違いは
まちなみ機能の強化の度合を示す

：まちなみ機能の強化の度合・方針について
今後検討

：回遊性に留意する動線

：路地：アクティビティの実験場

：他エリアとの回遊性に留意する動線

至、21世紀の森公園
／いわきグリーンフィールド



0

100

200

300

400

500 m